

令和元年度入学生用 カリキュラム・マップ

教育学研究科 学校教育研究専攻

(令和元年10月21日更新)

学位		修士(教育学)										ディプロマ・ポリシー		
所属情報												学校教育研究専攻		
大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3	
学校教育研究専攻	共通科目			必須		35011390	教職キャリア形成論	2	講義	専修免許を取得する予定である修士課程の学生に対して、これからの「専門職としての教職キャリア形成」はどう進めるべきかについて、総合的に考察する授業です。 自己のこれまでの教育体験・教職体験を振り返ります。また、教師に求められる資質能力やチェックリストの動向を提示して、自己の教育力量の到達点と課題を確認し、教職の指導・技術のポイントをや最近の研究動向を把握します。 さらに、教職キャリアを見直し、教職を遂行していくために必要なことがらを全体的に鳥瞰しつつ考察を深めます。 担当教員の相互の協力と分担で進めます。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011410	初等教育の総合研究	2	講義	初等教育の現状や課題を認知心理学、発達心理学、臨床心理学、学校心理学の各立場から理解し、自らそれらの課題について考えることができるようにする。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011430	中等教育の総合研究	2	講義	「中等教育～中学校・高等学校・中等教育学校～」に関する問題構成とその解決方向を総合的に考察する授業科目です。中等教育の学校現場で教師が教育実践を展開する際に必要になってくることがらを総合的にかつ深く考察するための授業科目です。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011450	身体・芸術系教育専門研究	2	講義	教科専門コラボ系科目のうち、身体・芸術にかかわる教科の専門研究である。身体・芸術系教科の現状と今日的な課題をふまえた上で、身体・芸術教育の今後の方向性を探り、現代的課題に対応した実践力の向上を図る。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011470	国際理解教育専門研究	2	講義	教育実践というローカルな場面は、社会や環境というグローバルな潮流の中に生じ、絶えず大局的な情勢から影響を受ける関係にあります。本授業では、そうした広い視点からの考察を通して自身の立ち位置を確認し、教育問題に取り組むための情勢の捉え方を議論します。また、実際に国際化が進む現場を観察して、その意味を検討します。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011490	環境教育専門研究	2	講義	環境教育の歴史的な変遷について、様々なレベルで理解できること。過去と現在と未来の環境問題の変遷を理解すること。これらの環境問題の解決のために、より専門的な解釈方法を地球科学、農学、家政学等の学問分野からの議論について理解できる。さらに、日本や外国で展開されている環境教育の授業を類型し、今後、どのような環境教育を展開していく要素について議論できるようになること。とくにESD,SDGsを理解し、静岡大学内から課題を発見し、具体的課題解決をはかること。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011510	情報教育専門研究	2	講義	学校や日常生活に様々な情報メディアが入り込んできている。情報メディアの負の部分から子どもや学校を守りつつ、そのメリットを教育に生かしていく方法を身につけるのが、本授業の目標である。	◎		◎	
学校教育研究専攻	共通科目			選択		35011520	スクールインターンシップ	4	講義	S I S で育成したい実践的指導力は、教員初期に必要な能力（①教科指導力、②学級経営力、③生徒指導力④連携・協働力）です。 各自が主体的に個別課題を設定し、学校実践を行い、報告書にまとめることを通して学校現場で役立つこれらの能力を育成します。	◎		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
発達教育学専修	共通実践科目			必修		35011530	子ども・教育基礎研究	2	講義	保育学・運動学・児童福祉学・音楽教育学などの分野における研究・実践動向を紹介し、その報告と討議を通して、人生の基礎教育の時期にある乳幼児・児童の発達と保育・教育のあり方を深める。		◎	
発達教育学専修	共通実践科目			必修		35011550	学校教育実践研究	2	講義	学校現場で教育実践を観察又は体験し、そこから教育実践上の課題や事例を抽出し検討する力を育成することをねらいとした授業です。		◎	◎
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35011590	教育法制特論	2	講義	学校現場で教師が教育実践を展開する際に必要になってくる最新事情と知識を念頭に置いて、日本の教育に関する制度と法について基本的事項を概観するとともに、こんにちの教育事象に関する問題構成とその解決方向を考察できるようにすることをねらいにしています。教育実践の営みの背景となる日本の社会事象や家族関係、国際的動向にも注目します。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35011610	教育実践学特論	2	講義	教育学にもともと内在している「実践志向」の契機（実践構想・分析・省察・評価、実践解釈・批判、実践的力量の形成など）に焦点を合わせ、教育実践をとらえる視野の広がりや深まり、されにはその総合化をめざします。		◎	◎
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35010050	道徳教育特論	2	講義	<p>【到達目標】</p> <p>(1)教科化時代の道徳教育を主体的に実践していくために、その基盤となる理論と歴史、諸外国での実践状況と多様な道徳授業の方法について理解すること</p> <p>(2)修得した知識をもとにプレゼンテーションを行い、ディスカッションを通じて道徳指導の実践についてのアイデアを多様に展開できること</p> <p>【テーマ】</p> <p>学生が、単に道徳教育についての知識の提示に終わるのではなく、自分自身が道徳指導について持つ課題に引きつけて多様な道徳指導上の視点から考えて実践できる可能性を見出す姿勢を身に付ける。</p>		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35010010	教育内容・方法特論	2	講義			◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35010290	教育社会学特論	2	講義	教育社会学とは、あらゆる教育的な営みを対象とし、そのしくみを社会的に明らかにする学問分野である。教育社会学において重要な視点は、「あたりまえ」とらわれることなく、データに基づいて現象を冷静に分析することである。本授業は、教育的な営みを研究する際の調査・分析方法を理解することを目指す。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35010310	教育法制演習	2	演習	教育の制度と法（法制）について専門的な研究を深めることを授業のねらいとしています。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35011650	教育実践学演習	2	演習	教育実践学特論その他の授業の成果をうけ、教育実践をとらえる視野の広がりや深まり、されにはその総合化をめざしつつ、各受講者の視点からの論文作成・学会発表等に向けた検討を行ないます。		◎	◎
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択			教育哲学演習	2	演習			◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35011670	道徳教育演習	2	演習	本授業を通じて、受講者が道徳教育の在り方および指導法について理解を深め、新たな実践を創り出す力量の形成を目指す。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35010070	教育内容・方法演習	2	演習			◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
発達教育学専修	専修教科科目	教育学		選択		35011690	教育社会学演習	2	演習	社会調査の概要を学び、アンケート調査および聞き取り調査の企画・実施・分析を試みる。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011750	心理測定法特論	2	講義	学部で心理学を専攻しなかった学生も視野に入れ、測定法と統計法の基礎から始め、教育心理学で利用することの多い質問紙法と、それらの分析の基礎となる統計的検定について学習する		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011770	臨床心理学特論	2	講義	①代表的な心理療法の理論を理解し、それに基づいた対象の理解を深める ②心理療法の実際を理解する ③社会問題に対する臨床心理学的アプローチの現状について理解する		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35010450	教育心理学特論	2	講義	学習を心理学的に理解するための基本的な知識を習得すると共に、それを基にしてアクティブラーニングの原理や方法を考えたり工夫したりできる力を身につける。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011790	学校心理学特論	2	講義	子どもを理解するための基礎的な見方や方法について理解するとともに、個別だけでなく集団（クラス）を対象として子どもたちの対人関係能力をどのように向上させていけばよいかについて、その技術を身につける。さらに、事件事故、さらに災害が発生した場合の子どもの心のケアについても学ぶ。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011810	発達心理学特論	2	講義	発達心理学における国内外の研究動向を把握すると共に、子どもの発達を考える上での新たな視点を獲得する。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011850	心理測定法演習	2	演習	前期の心理測定法特論が定量的な方法を主として扱ったのに対して、本演習では、質的研究の方法論について深める		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011870	臨床心理学演習	2	演習	①心理療法の実際を理解する ②子どもの心理臨床現場の現状を理解する ③ケースカンファレンスを通して、子どもの支援策を見出す力を身に付ける ④学校現場等、自分が活動するフィールドで臨床心理学的な視点を活用できるようになる		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011890	教育心理学演習	2	演習	学びに関する心理学の様々な考え方やアプローチを広い観点から理解し、批判的に検討を加え、教育実践を考えるための手がかりを得る。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011910	学校心理学演習	2	演習	学校カウンセリングに関する理論や知識を基に、最新の文献を読み、理解を深める。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	教育心理学		選択		35011930	発達心理学演習	2	演習	発達に関する理論を理解し、子どもの発達に関する体系的な考え方を獲得する。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35010870	幼児教育学特論	2	講義	子どもの心の表現としての行為をいかに理解するか。真に子どもを理解するための基本的力量の形成をめざす。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35011950	幼児音楽学特論	2	講義	人間の、生涯にわたる音・音楽とのかかわりを考える上で、ベースとなる乳幼児期の音楽的な育ちと学びの在り方と意味について学ぶ。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35010910	幼児運動学特論	2	講義	幼児の体力、運動能力、運動発達および運動遊びなどについて理解する。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35011030	児童福祉学特論	2	講義	児童福祉が対象とする子どもの現状（貧困問題や被虐待問題、非行問題）と各施設や事業で行われている実践について「事実」に基づき把握するとともに、子どもの権利擁護・保障という視点から捉える力をつけること。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35010950	幼児教育学演習	2	演習	戦後の幼稚園教育要領のカリキュラム論と実践の多様性について検討する。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35011970	幼児音楽学演習	2	演習	乳幼児期を起点とした人間の生涯にわたる音・音楽とのかかわりを視野に入れて、当該研究分野の研究領域、研究方法、研究の動向について各人の課題意識および専門分野を生かして学び、理解を深める。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35010990	幼児運動学演習	2	演習	幼児の体力、運動能力および運動発達などをどのように理解し、どのように指導すればよいかについて考察する。		◎	
発達教育学専修	専修教科科目	幼児教育		選択		35011050	児童福祉学演習	2	演習	被虐待児が大人になり社会的な自立を果たす際の困難を、現代日本の若者が抱える困難との共通性と違いを捉え、大人への自立を支えるシステムについて検討する。		◎	
国語教育専修	共通実践科目			必修		35020630	国語科教育実践研究	2	講義	学校教育において「国語」という教科を指導するための基礎的な力を養成するために、入門期の言語教育（「ことば」）から中学校の国語科教材の分析法及び教授法等について考察すると共に、実践的な応用をも試みる。		◎	◎
国語教育専修	共通実践科目			必修		35020650	国語科教材開発論	2	講義	国語科の授業において、学習者の興味・関心を引き付けると共に、学ぶ価値のある国語教材をいかにして開発すべきかについて、国語教育と言語教育（「ことば」）の理論と実践の両面から考察する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	国語科教育学	選択		35020670	国語科教育原論Ⅰ	2	講義	近代国語教育論研究の一環として、明治期・大正期・昭和戦前期・昭和戦後期の各期における国語教育と言語教育（「ことば」）の理論と実践の両面から考究する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	国語科教育学	選択		35020690	国語科教育原論Ⅱ	2	講義	近代国語教育論研究の一環として、明治期・大正期・昭和戦前期・昭和戦後期の各期における国語教育と言語教育（「ことば」）における理論と実践の両面から考究する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	国語科教育学	選択		35020710	国語科教育課程論Ⅰ	2	講義	国語教育の実践・理論、国語科教育課程について理解し創造していく上で、その根底にある理論・概念を明らかにしていく研究能力を身につける。受講者個々の関心や問題意識に応じて研究を深め、理論・概念そのものを創造していく能力を身につける。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	国語科教育学	選択		35020730	国語科教育課程論Ⅱ	2	講義	国語教育の実践・理論、国語科教育課程について理解し創造していく上で、その根底にある理論・概念を明らかにしていく研究能力を身につける。受講者個々の関心や問題意識に応じて研究を深め、理論・概念そのものを創造していく能力を身につける。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	国語科教育学	選択		35020050	国語科教育指導論	2	講義	国語科教育指導論では、国語科における教科書教材研究と授業実践研究とを有機的に関連づけながら考究する。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020110	国語学特論Ⅰ	2	講義	<p><授業の目的> 日本語史上の重要なトピックの概要と、それらの日本語史における位置づけを理解する。</p> <p><到達目標> 1.個々のトピックについて、それがなぜ日本語史の上で重要であるかを説明できる。 2.言語は変化するということ、またその変化は多様であることを知る。</p>		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020130	国語学特論Ⅱ	2	講義	<p><授業の目的> 日本語史上の重要なトピックの概要と、それらの日本語史における位置づけを理解する。</p> <p><到達目標> 1.個々のトピックについて、それがなぜ日本語史の上で重要であるかを説明できる。 2.言語は変化するということ、またその変化は多様であることを知る。</p>		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020750	国語学演習	2	演習	<p><授業の目的> 文献資料を用いた日本語史研究の方法を実践的に理解する。</p> <p><到達目標> 1.文献資料の読解を通じて、日本語史上の問題となる事柄を発見できる。 2.用例の分析・仮説の提示・仮説の実証を、適切なプロセスに基づき行うことができる。</p>		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020250	国文学特論Ⅰ	2	講義	近現代文学の様々な作品に触れ、基礎的な読解の方法を身につける。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020270	国文学特論Ⅱ	2	講義	近現代文学の作品を題材に、一つの作品に対する複数のアプローチを身につける。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020770	国文学演習	2	演習	関連する文献を収集・整理し、それを踏まえて作品を読解する		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020390	漢文学特論Ⅰ	2	講義	漢文学の思想、史伝の各分野のうちからいくつかのトピックを取り上げ、その特質や意義などを考察するとともに、漢文の読解力を養成する。またあわせてそれぞれの分野の教材としての研究方法も考察する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020410	漢文学特論Ⅱ	2	講義	漢文学の漢詩・漢字の各分野のうちからいくつかのトピックを取り上げ、その特質や意義などを考察する。またあわせてそれぞれの分野の教材としての研究方法を考察する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020430	漢文学演習	2	演習	東洋人の思考を根拠で支える中国思想についてその特質と意義を考察する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	国語学・国文学・漢文学	選択		35020790	国語科内容論Ⅰ（国語学・国文学・漢文学）	2	講義	国語学・国文学・漢文学の基礎と応用を身につける。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	書道	選択		35020810	書道特論Ⅰ	2	講義	漢字の五書体（篆書、隸書、楷書、行書、草書）の造形上の特質を明らかにし、相互の関連を図りながら、書の本質を考察する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	書道	選択		35020830	書道特論Ⅱ	2	講義	伝統的な書の本質を究明するために不可欠な書論を講読し、合わせて現代的な知見をもとに科学的根拠を究明する。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	書道	選択		35020490	書道研究演習	2	演習	漢字五書体、仮名、漢字仮名交じり書の鑑賞と高度な創作活動を通して、理論に裏付けられた技能の向上を図る。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	書道	選択		35020850	国語科内容論Ⅱ（書写・書道）	2	講義	学習指導要領の内容をおさえ書の言語性と造形性をふまえながら、書写・書道教育の原理を学び、今日的課題を明らかにする。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	日本語教育	選択		35020870	日本語教育特論	2	講義	言語教育を考察することは、主体（支援者・学習者）が関与する教育環境との相互作用の様相を考察することです。こうした教育観・言語観を重視した研究分野「生態学」を取り上げ、言語教育実践や研究に結びつける方法を議論します。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	日本語教育	選択		35020890	日本語教育内容論	2	講義	日本語学習者に対して、何を教えるか、どう教えるかについて、教室活動の理論的背景を理解し、日本語教育の全体像を把握することを目標とする。		◎	
国語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	日本語教育	選択		35020910	日本語教育学演習	2	演習	フィールドワークを通して、日本語教育の実践を学びます。		◎	
社会科教育専修	共通実践科目			必修		35030890	社会科教育実践研究	2	講義	この授業では、社会科教育の理論と実践の総合研究として、社会科教師としての教育活動と授業実践を、多角的に考察し、実践することをねらいとする。実際の学校現場やそこで活躍する社会科教師との往還を行いながら、社会科授業を開発していく。このことを通じて、授業を実践する力を磨き、最新の専門的知識と指導技術を身に付け、より高度な教師として必要な資質を身に付ける。		◎	◎
社会科教育専修	共通実践科目			必修		35030910	社会科教材開発論	2	講義	この授業では、社会科教育の理論と実践の総合研究として、社会科授業の開発の手法や技能を修得し、活用することをねらいとする。社会科教材や社会科授業、地理学、歴史学、社会諸科学の理論を踏まえ、社会科授業の開発を行う。このことを通じて、教材を研究する力を磨き、最新の専門的知識と指導技術を備え、より高度な教師として必要な資質を身に付ける。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	社会科教育学	選択		35030010	社会科教育原論	2	講義	この授業では、公民としての資質・能力の育成を目指す社会科の理念と教科の特性を多角的に考察し、理解することをねらいとします。具体的には、次の3つを達成できるようにすることを目指します。 1. 社会科教育の変遷過程を理念と実践の面から理解することができる。 2. 社会科教育の現状と課題について自分自身の見解を論じることができる。 3. 社会状況を踏まえながら今後求められる社会科教育について考え、自分自身の社会科観を説明することができる。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	社会科教育学	選択		35030930	社会科教育課程論Ⅰ	2	講義	この授業では、社会科教育の研究動向を踏まえながら、市民的資質の育成を目指す社会科の新たな課題を、多角的に考察し、理解することをねらいとする。社会の変化を受けて、変容を迫られる社会科の目標、内容、及び方法や、社会科授業を検討する。新たな国家・社会観と求められる国民・市民像を視野に入れて、社会科授業を考察する。このことを通じて、社会科教師として必要な教育内容を選択し、配列する力や、単元を構想する力を身に付ける。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	社会科教育学	選択		35030950	社会科教育課程論Ⅱ	2	講義	本講義は、社会科教育の研究動向を踏まえながら、市民的資質の育成を目指す社会科の新たな課題を多角的に考察し、理解することを目的とする。社会の変化を受けて、変容を迫られる社会科の目標、内容、及び方法を検討する。地域、社会と社会科との関連を視野に入れて、社会科授業を考察する。このことを通じて、社会科教師としての必要な教育内容を選択し、配列する力や、単元を構想する力を身につける。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
社会科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	社会科教育学	選択		35030970	社会科教育指導論Ⅰ	2	講義	この授業では、日本の学校教育における社会科の理論と実践の変遷過程を踏まえながら、公民的資質の育成を目指す社会科授業実践のあり方を多様な視点から考察し、受講者独自の実践化への方法論を構築することをねらいとします。 具体的には、次の4つを達成できるようにすることを目指します。 1. 社会科の先行授業実践における指導論の特徴と課題について分析し、自分自身の見解を論じることができる。 2. 社会科授業実践のPDCAサイクルを意識しながら、指導技術を身に付けることができる。 3. 児童・生徒の変容に着目しながら、社会科の授業実践を分析することができる。 4. 社会科教師に求められる力量とその形成方法について自分なりの見解を持つことができる。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	社会科教育学	選択		35030990	社会科教育指導論Ⅱ	2	講義	この授業では、社会科教育の理論を踏まえながら、市民的資質の育成を目指す社会科授業のあり方を、多角的に考察し、理解することをねらいとする。近年注目される市民的資質教育の考えを取り入れた単元を開発し、実践を行う。このことを通じて、社会科教師として必要な指導技術を含めた授業実践力と、自分自身の授業実践を評価し、まとめる力を身に付ける。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	哲学・倫理学	選択		35031010	社会科内容論Ⅰ（哲学・倫理学）	2	講義	本講義は中学校社会科及び高校公民科のカリキュラムを踏まえながら、哲学・倫理学分野の学習内容とその構成を考察する。そうした作業を通じて教材選択や授業開発に結び付け、教員として基礎的な力の育成を目指す。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	哲学・倫理学	選択		35030230	宗教学特論	2	講義	死者、特に軍人軍属および民間人で戦争による死者を対象として、その死が社会的にどのように表象されてきたのかを、民俗宗教という観点を中心にして論じる。またフィールドワークも行うことによって、戦死という事態から逆に近代以降の日本において、宗教がどのような役割を果たしてきたかについても、考えを深めていきたい。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	哲学・倫理学	選択		35030310	宗教学演習	2	演習	日本の民俗宗教の中でも、特に「吊い」に焦点をあてて、その歴史や意義について理解を深める。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	哲学・倫理学	選択		35030270	倫理学特論	2	講義	政治哲学の一分野であり、人道的介入、移民の規制、世界的貧困などの国際問題を扱う世界正義論の専門書の精読を通し、そうした問題にどう取り組むべきか考えていく。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	哲学・倫理学	選択		35030350	倫理学演習	2	演習	倫理や政治哲学に関連する著作を読解し、さらには、それに関する討論をつうじて、公民の授業を行う上で、必要となる知識を会得することが、この授業の目標である。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35031030	社会科内容論Ⅱ（歴史学）	2	講義	小・中学校、高等学校の歴史教育に必要な基礎的学力を身につける。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35030390	日本史特論Ⅰ	2	講義	近年喧しいまでに「歴史的思考力」の養成が「歴史教育」の場に求められているが、これを児童・生徒に求めるには、教員自身が「歴史的思考力」を持ち得ているかが問われなければならない。ここで言う「思考力」とは単なる思い付きではなく、蓄積された近代社会科学の方法論を十分に租借し、その理解のうえに導き出されるものでなくてはならない。本授業では近代社会科学に基づく歴史学の方法論を、日本前近代史の研究成果を通じて修得することを目標とする。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35030410	日本史特論Ⅱ	2	講義	史料、論文を読む力を身につけるとともに、日本近代史についての歴史像を豊かにし、歴史認識を深める。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35031050	外国史特論Ⅰ	2	講義	日本の公教育にける歴史学習の終着点は、現在の高校進学率と学習指導要領における必修科目を考慮すると高校「世界史A」であると考えられる。また新学習指導要領では、「日本とのつながり」と「資料の取り扱い」が重点化されたことが注目される。このような現状に対応するため、日本と関係の深い中国古代史の代表的研究成果を購読し、中国史の認識方法を模索する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35031070	外国史特論Ⅱ	2	講義	ヨーロッパを中心とした歴史について学習する		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35030470	日本史演習Ⅰ	2	演習	日本における古代国家の成立とその展開について、木簡と金石文からその実態にせまる。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35030490	日本史演習Ⅱ	2	演習	日本近現代民衆思想史の方法論を学び、研究能力を高める。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35031090	外国史演習Ⅰ	2	演習	中国古代史研究の素材となる正史と石刻史料の取り扱い方を習得する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	歴史学	選択		35031110	外国史演習Ⅱ	2	演習	ヨーロッパ中近世の国家や社会について理解を深めるための演習を行う		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35031130	社会科内容論Ⅲ（地理学）	2	講義	本講義は、社会科のカリキュラムを踏まえながら、地理学の視点から教育内容とその構成を、多角的に考察し、理解することをねらいとする。地理学の理論動向を、社会科の教材選択や授業開発に活用する手法を学んでいく。このことを通じて、教材を解釈し、研究する力を磨き、最新の専門的知識を身に付け、地理的な見方・考え方を身に付けることを目標とする。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35030550	地理学特論Ⅰ	2	講義	アジアを中心とした発展途上地域を扱う地理学的研究において、グローバル化、人口や環境、産業化、都市と農村との関係などの諸課題が如何に取り扱われているかを多角的に考察し、理解することを目指す。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35030570	地理学特論Ⅱ	2	講義	アジアを中心とした発展途上地域について人口や環境、産業化、都市と農村との関係などの諸課題が近年の地理学的研究において如何に取り扱われているかを多角的に考察し、理解することを目指す。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35030590	地理学特論Ⅲ	2	講義	近年の経済地理学に関する発展的な文献講読を通じて、グローバル化の中での地域経済の実態とその視角、および地域政策のあり方について検討する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35030610	地理学演習Ⅰ	2	演習	ESD、とりわけ開発教育の観点から、アジアを中心とした発展途上地域の諸課題（人口や環境、産業化、都市と農村の関係など）に関する学習の内容と学習手法に関する理解を深めることを目指す。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35030630	地理学演習Ⅱ	2	演習	我が国の農山村における社会経済の変化に関する検討を通じて、今後直面する人口減少社会のあり方を検討する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地理学	選択		35030650	地理学演習Ⅲ	2	演習	本時では文献渉猟やデータ分析、地域調査等の実施を通じて、より高い水準の地理学の修士論文の完成を目指す。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法律学・経済学	選択		35031150	社会科内容論Ⅳ（法律学・経済学）	2	講義	主に中学校社会科の公民分野、及び高校公民科の政治・経済分野の学習内容に即して、教員として身につけるべき基礎的かつ重要な事項を理解する。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法学・経済学	選択		35030670	法学特論Ⅰ	2	講義	多様な文化価値観が時に厳しい対立を引き起こしつつ共存するこの世界を、普遍的人權の視点から読み解くことを目指す。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法学・経済学	選択		35030690	法学特論Ⅱ	2	講義	普遍的人權の国民国家における保障という近代立憲主義の根底に存在するパラドクスをめぐって考察する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法学・経済学	選択		35031170	経済学特論	2	講義	近現代日本経済史、あるいは日本経済論に関する代表的な著書・論文を輪読し、研究動向、研究史に関する理解を深めることを目的とする。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法学・経済学	選択		35030730	法学演習Ⅰ	2	講義	普遍的人權の国民国家における保障という近代立憲主義の根底に存在するパラドクスをめぐって考察する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法学・経済学	選択		35030750	法学演習Ⅱ	2	講義	普遍的人權の国民国家における保障という近代立憲主義の根底に存在するパラドクスをめぐって考察する。		◎	
社会科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	法学・経済学	選択		35031190	経済学演習	2	演習	近現代日本経済史、あるいは日本経済論に関する基礎的な史資料(例えば経済関連官公庁の白書・年報類など)を講読し、これらに対する深い知識の獲得を目的とする。		◎	
数学教育専修	共通実践科目			必修		35040470	数学科教育実践研究	2	講義	算数・数学教育の目的・目標、内容、方法、評価について広く考察を加えるとともに、具体的な授業事例をとりあげ、「よい授業」を構想する上での着眼点等を明らかにすることをねらいとする。		◎	◎
数学教育専修	共通実践科目			必修		35040490	数学科教材開発論	2	講義	算数・数学科における教材開発について、その意義と開発の方法について理解を深め、算数・数学の授業で活用できる効果的な教材を開発する力を育成する。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科教育領域	数学教育学	選択		35040510	数学科教育原論Ⅰ	2	講義	算数・数学教育の目的・目標、内容、方法、評価について具体的に検討し、教科目標を実現するための授業のあり方とその実際について多面的に追究する。さらにまた、学習者のわかり方を踏まえた授業を構想することを目指す。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科教育領域	数学教育学	選択		35040530	数学科教育原論Ⅱ	2	講義	数学科教育原論Ⅰに引き続き、算数・数学科の目的、指導内容、指導方法等について具体的に検討し、算数・数学教育の今日的課題や算数・数学教育の接続を視野に入れた指導のあり方について考察する。また、数学を学ぶ意義を重視した授業を構想することを目指す。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科教育領域	数学教育学	選択		35040550	数学科教育課程論	2	講義	数学科教育原論Ⅰ・Ⅱに引き続き、算数・数学教育の内容や方法について、多面的に追究することがねらいである。特に、算数・数学科の教育課程に焦点をあて、学習指導要領の分析、教材の系統性などについて、文献購読等を通して理解を深める。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科教育領域	数学教育学	選択		35040030	数学科教育指導論	2	講義	数学科教育原論Ⅰ、Ⅱに引き続き、算数・数学教育の内容と方法について、多面的に追究することがねらいである。特に、幼稚園における数や図形概念の獲得も含めた算数・数学科の指導に関わる教材に焦点をあて、文献輪読等を通して理解を深める。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科専門領域	数学	選択		35040570	数学科内容論	2	講義	小学校・中学校・高等学校で学ぶ算数・数学の教育内容のバックグラウンドを教科専門の立場から、代数学・幾何学・解析学それぞれの分野に分けて考察する。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科専門領域	数学	選択		35040590	代数学特論	2	講義	代数学のトピックスを深く理解する。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
数学教育専修	専修教科科目	教科専門領域	数学	選択		35040630	幾何学特論	2	講義	幾何学のトピックスを深く理解する。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科専門領域	数学	選択		35040670	解析学特論	2	講義	解析学に関する理論展開を、正しく理解する		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科専門領域	数学	選択		35040710	応用数学特論	2	講義	「統計リテラシーのすすめ」と題して、日々の暮らしで出会う統計数字や表・グラフを、批判的に解釈するための基本的技能について講義する。新学習指導要領への対応の基礎になることを目標とする。		◎	
数学教育専修	専修教科科目	教科専門領域	数学	選択		35040730	数理学特論	2	講義	数学に関する書物及び、論文は現在そのほとんどが、組版システム pLaTeX2e を用いて書かれている。そこでこの授業では、修士論文を書くための準備として、数学の各分野における書物及び論文を購読するとともに、pLaTeX2e による、数学の論文の書き方について学ぶ。		◎	
理科教育専修	共通実践科目			必修		35051030	理科教育実践研究	2	講義	静岡大学教育学部には、7つの附属学校・園があります。各附属学校・園では、独自の研究課題を設定し、研究・実践を行っています。各附属学校・園の研究協議会における理科授業の参観を通して、より実践的な理科授業を体験するとともに、研究課題に沿った教育とは何かについて分析・考察する力を養います。研究協議会の参観の前には、国立教育政策研究所が展開したビデオ研究を視聴し、質の高い理科授業について考察します。質の高い理科授業を実践するための理論の理解と、理科授業の計画、理科授業の実践力とは何かを理解します。		◎	◎
理科教育専修	共通実践科目			必修		35051050	理科教材開発論	2	講義	学校理科において、学習効果の高い理科授業指導案を作成したり単元構想を行ったりする場合には、教授学的な理解とともに、科学的の内容理解が必要となる。そこで本講義科目では、高等学校レベルの理科の学問的背景について理解を深め、教授学的な内容知識の向上を目指す。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	理科教育学	選択		35050010	理科教育原論	2	講義	理科における学力の多義性、日本における理科教育の歴史を踏まえ、理科における真正な学びとは何か、どのようにして到達しうるのかを考察する。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	理科教育学	選択		35050030	理科教育指導論	2	講義	(1) 受講者はこれまでの理科教材や理科指導に関わる歴史的な移り変わりや着眼点、今後の展開などを学び、現代理科教育に求められる理科教材や理科指導を考察することができます。 (2) 理科教育に関わる典型的なトピック、注目されているトピックに触れつつ、文献調査の基本を学ぶことができます。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科教育領域	理科教育学	選択		35051070	理科教育課程論	2	講義	世界の様々な国において科学技術教育が、社会と複雑に絡みながら、様々な科学教育改革カリキュラムモデルを生み出し、成功と失敗を繰り返してきた。科学の本質、エンジニアリングとテクノロジーの本質、科学・技術と社会との相互作用とはどのようになされてきたのかを歴史的考察を深め、それらの知見をもとに日本型の科学的リテラシー・STEMリテラシーとは何なのか理解できるようになること。また、今後の科学教育改革のために、どのような理科教育課程の構築が可能であるかについて、STEM教育等のモデルを示し、世界の科学教育カリキュラム論と比較し、利点や欠点を述べられること。これらの学習を通して、自分の理科授業に反映させることができるようになること。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	物理学	選択		35051090	理科内容論Ⅰ（物理）	2	講義	物理学・天文学・宇宙物理学の基礎的な文献・書籍を精読することにより、現在の人類が科学的な実証の上にたどり着いている最新の物理的世界観・宇宙観を理解する。また、受講者の希望によっては、英語の原著論文・文献を読み、理学的な英語読解力の向上を目指す。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	物理学	選択		35050130	物理学特論Ⅰ	2	講義	物理学の基礎を教科書や文献を通して理解する。また、物理学の最先端を紹介し、物理学と現代社会との関わりを学ぶ。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	物理学	選択		35050150	物理学特論Ⅱ	2	講義	自然現象から普遍的な法則を発見するのが物理学であるが、普遍的な法則に到達するまでに様々な紆余曲折がある。物理学者たちが自然をどうとらえ、付き合ってきたかを、歴史的記述の多い物理学の教科書、あるいは初学者向けの啓蒙書などを通して学ぶ。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	物理学	選択		35051110	物理学演習	2	演習	物理学を言葉で語り、身近な例、風変わりな例、現代の科学技術に関わる例などを丁寧に、議論を交えて講義を進めてゆきたい。最終的には議論したことをまとめ、発表することによって理解を確かなものにする。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	化学	選択		35051130	理科内容論Ⅱ（化学）	2	講義	大学院を卒業して教員採用されてから、小中高の教師として退職するまでの30年以上の間に起こりうる化学の進展に 対処できる人材を育てるのが目標である。新しい化学の進展を調査でき、理解できる能力を育成し、演習する。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	化学	選択		35050290	化学特論Ⅰ	2	講義	発展を続ける化学の成果を授業や実験で活用することは、生徒の興味関心を引くためにも重要である。そのためには、化学における基本的な考え方を、単なる知識としてではなく活用できるものとして身につけ、発展を続ける化学の成果を吸収できる必要がある。本講義では、特に無機化学や分析化学の考え方を身につけることで、化学における新しい発展的事項や成果について理解して利用できるようにすることを旨とする。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	化学	選択		35050310	化学特論Ⅱ	2	講義	化学で扱う物質は多岐にわたり、同じ物質でも異なる条件で示す物性は多岐にわたる。このことを実感してもらうために、汎用性プラスチックであるポリスチレンを題材にして、立体規則性の変化（インタクチック、シンジオタクチック、アタクチック）による結晶挙動・ゲル化挙動の変化を詳しく検討・説明する。最新の論文に触れながら、研究の構築方法についてある程度の方向性を確立できるような視野を身につけてもらうことが目標である。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	化学	選択		35051150	化学演習	2	演習	高分子物理化学の根本原理について学習した上でその概念を把握してもらい、さらに、高分子の様々な形態を明らかにするための測定法を具体的に学んで、最終的には、自分で研究を進めていく力を身につけてもらう。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生物学	選択		35051170	理科内容論Ⅲ（生物）	2	講義	生物学に関する文書から特定のトピックスについてまとめ、発表議論を行うことで、生物分野の最先端の話題への興味関心を高め、小中高の教員としての知識を深める。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生物学	選択		35050470	生物学特論Ⅰ	2	講義	生態系では、生物どうしが競争、共生、食う一食われるなどさまざまな関係を築き、その関係が組み合わさることで生物の多様性が維持されている。そのような生物どうしの関係（生物間相互作用）が生態系においてもつ意味を理解し、それを背景とした指導力の向上を目指す。また、生物の多様性に関する近年のトピックスを知ることにより、児童・生徒の生物多様性についての理解と興味を高めることができる力を身につける。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生物学	選択		35050490	生物学特論Ⅱ	2	講義	未来の小中学校教員に知ってほしい生物学の話題性のあるトピックについて幅広く学ぶとともに、最新の知見を論文から学び取り、他者に分かりやすく解説する手法を体得する。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生物学	選択		35051190	生物学演習	2	演習	生物学に関する専門的な知識と関心を深めることによって、生物への関心と理解を高めることができる指導能力を向上する。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地学	選択		35051210	理科内容論Ⅳ（地学）	2	講義	地球惑星科学や自然史に関連する最新のトピックスについて、その内容をテキストや学会が公表した試料などに 基づき理解を深め、それらを教材化したり、現行の授業内容を顧みる力を身につける。 ?		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地学	選択		35050630	地学特論Ⅰ	2	講義	防災関連科学・技術にかんする基礎知識やノウハウの習得のためには、フィールドや現場の調査・観測を体験することが欠かせない。外部の研究機関などの協力のもとで、防災講演会・研究会・学会の聴講、災害調査や防災関連業務の実務体験などをおこなう。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地学	選択		35050650	地学特論Ⅱ	2	講義	地質学諸分野における野外実習に必要な実践的な技量の習得と観察対象についての体系的な理解を目標とする。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	地学	選択		35051230	地学演習	2	演習	地学の幅広い分野について特定のテーマを設定し、文献調査や実際に研究を行い、成果をプレゼンテーションにまとめる能力を身につける。また、質疑応答、コメント能力の向上も目標とする。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	総合環境科学	選択		35051330	理科内容論Ⅴ（総合環境科学）	2	講義	総合環境科学に関連するトピックス、とりわけ気候変動・海面変動や地球温暖化などの自然環境の長期的な変化に関する領域の最先端の話題をとりあげ、近年の科学の進展について理解を深め、それらを教材として扱う上でのポイントについて考える力を身につける。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	総合環境科学	選択		35050970	総合環境科学特論	2	講義	近年、情報技術の進展とともに、コンピュータシミュレーションは実験とダイレクトに比肩できるレベルに進歩してきた。そこで、本講義では、コンピュータを用いた流体シミュレーションの基礎および、シミュレーション技法について理解する。具体的なテーマは、毎年変更予定。		◎	
理科教育専修	専修教科科目	教科専門領域	総合環境科学	選択		35051350	総合環境科学演習	2	演習	環境科学の理解やその教育には、様々な科学的知見から総合的に判断する能力や、それをわかりやすく他人に説明する力が求められる。本授業では、演習を通して様々な科学的視点から総合的に地球環境や私たちの身のまわりの環境について考察する力を養うとともに、それをわかりやすく論理的に説明するためのプレゼンテーションの力を実践的に身につけることを目指す。		◎	
音楽教育専修	共通実践科目			必修		35060750	音楽科教育実践研究	2	講義	幼稚園および小・中学校における授業活動を参観することによって、授業実践課題を発見し、受講生一人ひとりの実践力を高めることを目標にしています。		◎	
音楽教育専修	共通実践科目			必修		35060770	音楽科教材開発論	2	講義	声楽・器楽・作曲の各分野から、専門的に、学校教育における音楽の教材開発を実践的な手法をもって研究する。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学			35060790	音楽科教科内容論Ⅰ		講義	教科書を中心にして学習材を分析し、そこに意図されたものを読み取る能力を養うことを目標にしています。		◎	◎
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学			35060810	音楽教育学特論Ⅰ		講義	修士論文における研究テーマの明確化を図ることを目標としています。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学			35060830	音楽教育学演習Ⅰ		演習	修士論文における研究テーマの具体化と発展を目標としています。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学	選択		35060850	音楽科教科内容論Ⅱ	2	講義	音楽科教育の今日的課題の一つである「伝統音楽」「伝統文化」の指導に対応するために、和楽器の演奏を通じて理解をしていく。個々のレベルにあわせて課題を設定し「自主的」に課題に取り組む。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学	選択		35060870	音楽教育学特論Ⅱ	2	講義	音楽授業および表現と鑑賞の指導における教育内容について、教材やメソッドを中心に考えていながら、指導・学習の方法についても検討していく。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学	選択		35060890	音楽教育学演習Ⅱ	2	演習	音楽科教育学を専攻する修士課程2年（または2年以上）の大学院生に対し、研究の進め方についての個人指導またはグループ指導を行います。ディスカッションを通して、各自のもつ課題意識を明確化するとともに、研究テーマの設定、資料の収集および分析等、考察と執筆の手続きについて助言します。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学	選択		35060910	音楽教育原論	2	講義	音楽教育の対象と目的、歴史の変遷、我が国や諸外国の動向をふまえながら、音楽教育に関する幅広い理解を身につけ、多角的な視野を持つ。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学	選択		35060030	音楽科教育指導論	2	講義	我が国の伝統音楽の多様性を理解し、様々な存在する種目の特徴の一つである音色を聴き分ける力、音を聴くことで種目がわかるような感性、種目について発生、音楽的特徴、代表的な曲、使用される楽器などを他者に伝えることができるような基礎知識を習得する。。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科教育領域	音楽科教育学	選択		35060930	音楽科教育課程論	2	講義	音楽科における教育課程に関しての基本的理解を身につけるとともに、学習者、教師、教材、授業、評価など、教育課程を取り巻く様々なトピックから、音楽科カリキュラムの在り方を検討できるようになる。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	器楽	選択		35060950	音楽科教科内容論Ⅲ	2	講義	曲にふさわしいテクニックと表現で演奏できるようになる。（60%） 自分でもピアノ指導が行えるようになる。（40%）		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	器楽	選択		35060970	器楽演奏法特論Ⅰ	2	講義	曲にふさわしいテクニックと表現で演奏できるようになる。（60%） 自分でもピアノ指導が行えるようになる。（40%）		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	器楽	選択		35060990	器楽演奏法演習Ⅰ	2	演習	曲にふさわしいテクニックと表現で演奏できるようになる。（40%） 演奏で学んだことを文章にまとめることができる。（60%）		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	器楽	選択		35061010	音楽科教科内容論Ⅳ	2	講義	各自のレパートリーを定めて演奏研究を行いながら、ピアノ曲全般について考察し、音楽的見地を深めることを目標とします。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	器楽	選択		35061030	器楽演奏法特論Ⅱ	2	講義	「器楽演奏法演習Ⅱ」に引き続き、ピアノ曲全般についての考察を行いながら各自のレパートリーを定めて演奏研究を行います。そして、修士論文の構想に着手します。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	器楽	選択		35061050	器楽演奏法演習Ⅱ	2	演習	音楽の内容およびテクニックについて総合的にピアノ演奏研究を進めていきます。同時に、修士論文についても着手します。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	声楽	選択		35061070	音楽科教科内容論Ⅴ	2	講義	声楽曲を表現するための能力や指導するための技術が身につくようにします。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	声楽	選択		35061090	声楽演奏法特論Ⅰ	2	講義	声楽曲を表現するための能力や指導するための技術が身につくようにします。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	声楽	選択		35061110	声楽演奏法演習Ⅰ	2	演習	声楽曲を表現するための能力や指導するための技術が身につくようにします。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	作曲	選択		35061130	音楽科教科内容論Ⅵ	2	講義	作曲分野から考える音楽教育創作部分の具体的能力を養う。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	作曲	選択		35061170	作曲法特論Ⅰ	2	講義	機能音声から近代和声への発展と調性崩壊に至る過程を明確に把握すること。		◎	
音楽教育専修	専修教科科目	教科専門領域	作曲	選択		35060690	作曲法演習Ⅰ	2	演習	様々なスタイルの作曲技法の修練と開発を行う。		◎	
美術教育専修	共通実践科目			必修		35070410	美術科教育実践研究	2	講義	論文ないし制作における学生の各研究課題から出発し、それぞれの研究課題に応じた教育的アプローチを個別に検討し、実践的な教育方法を提言させる。		◎	◎
美術教育専修	共通実践科目			必須		35070430	美術科教材開発論	2	講義	小学校図画工作科及び中学校美術科の教科書と授業実践を取り上げ、教材の魅力、授業の組み立て方、児童・生徒への関わり方等、考察を加える。図画工作・美術の授業を展開するための実践力の分析や討論、さらに作家の作品や創作方法の追求を通して、現代的な美術教育の教材開発及び実践のあり方を考えることを目標とする。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	美術科教育学	選択		35070010	美術科教育原論	2	講義	美術教育の歴史と理論について考察を深めること、論文・著書を読み、文献解釈の力を高めることを目標とした。また自己の課題に適した研究手法と、研究論文を書くための基礎的な能力を身につけることをねらいとした。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	美術科教育学	選択		35070030	美術科教育指導論	2	講義	図画工作科及び美術科で扱う鑑賞内容（題材、作家・作品等）を検討し、新たな鑑賞教材を生み出すための基本的な知識・方法を考察する。美術鑑賞における自主教材の作成を試み、教育現場で可能な美術教材の作成方法と分析・批評の能力を身に付けることをねらいとする。また、演習（模擬的な授業・プレゼンテーション）を通して自主教材を検討し、教材開発及び授業設計のための実践的な力を身に付けることもねらいとする。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	美術科教育学	選択		35070450	美術科教育課程論	2	講義	戦後の学習指導要領の変遷について理解しつつ、図画工作・美術科の教育課程について検討する。その上で、図画工作・美術科教育の課題について探る。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070470	美術科内容論Ⅰ（絵画）	2	講義	大学院における絵画制作実践を発展させながら、学校教育における図工および美術科教材との連携を構想する。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070490	絵画特論	2	講義	絵画を、その主題、様式、自己の制作との関わり、鑑賞の観点から検討する。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070510	美術科内容論Ⅱ（彫刻）	2	講義	美術および図画工作で取り上げられる題材について、彫刻や造形の専門的な観点から理解を深め、教員としての知識の拡充を目指します。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070530	彫刻特論	2	講義	公共空間における展示を仮定、あるいは実践し、作品制作と先行研究の検証、研究テーマに沿ったリサーチを行います。これによって、各自の作品（研究）内容の論理的展開を目指すと共に、彫刻と社会の関係性について理解を深めます。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070550	美術科内容論Ⅲ（デザイン）	2	講義	美術教育におけるデザイン分野に関して、その目標や題材のねらいなどについて歴史的な経緯や同時代的な観点から理解するとともに、将来的な展望の中で必要とされる「デザインの考え方」「デザイン的な問題のとらえ方」について見直しをもち、よりパフォーマンスの高いデザインの内容が提案できるようにする。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070570	デザイン特論	2	講義	デザイン・工芸における「機能性と象徴性」など創作や分析のために必要な視点を各自が独自の観点から抽出し、それらに基づいて歴史的なデザイン工芸品の分析や現代に求められる創作に関する提案ができるようにする。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070630	美術科内容論Ⅳ（工芸）	2	講義	現代社会の流れを踏まえながら、人とデザインとの関わり方について学びます。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070650	工芸特論	2	講義	社会やコミュニケーションの中の問題点を発見し、クリエイティブな解決が出来るようなデザイン思考を身につけます。また、企画立案、コンセプトメイキングを通し、提案したモノやコトをより魅力的にプレゼンテーションできるような力を身につけます。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形制作論	選択		35070670	美術科内容論Ⅴ（造形芸術学）	2	講義	古代から鎌倉時代くらいまでの仏像制作の実態について資料を使って、具体的に説明する。		◎	
美術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	造形芸術学	選択		35070610	美術史特論	2	講義	この授業では美術作品を文化財として扱うことの意義について学ぶ。		◎	
保健体育教育専修	共通実践科目			必修		35080550	保健体育科教育実践研究	2	講義	体育の授業実践を参観し、研究内容に関わる児童・生徒の表れを捉えることを通して、授業分析能力の向上を図ることができる。 研究協議会の話し合いに参加し、様々な意見と比較しながら自分の意見を整理したり発表したりすることを通して、考えをまとめる能力の向上を図ることができる。		◎	◎
保健体育教育専修	共通実践科目			必修		35080570	保健体育科教材開発論	2	講義	・学習内容を確実に習得していくための学習活動を促進していく教材・教具についての理解を深めることができる。 ・教材づくりや教具づくりの基本的な条件や視点について理解することができる。 ・学習内容の習得を中核に据えて、技能や思考力・判断力・表現力を高めていくための教材とその学習活動のあり方について理解することができる。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科教育領域	保健体育科教育学	選択		35080590	保健体育科教育原論	2	講義	保健体育教育の目標・内容、ならびにその関連について理解することができる。特に保健の内容について、目標・内容の変遷や、それに影響を与えたその時々々の社会的要請、健康課題や疾病構造について理解することができる。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科教育領域	保健体育科教育学	選択		35080611	保健体育科教育指導論Ⅰ	2	講義	・保健体育科の学習指導の基本的事項について理解することができる。 ・保健体育科の学習指導、学習形態、学習過程、学習評価、授業評価の理解を深めることができる。 ・教科内容に関する専門的知識と教科内容を想定した教授方法に関する専門的知識の重要性を認識することができる。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科教育領域	保健体育科教育学	選択		35080612	保健体育科教育指導論Ⅱ	2	講義	保健の授業において、学習者の興味・関心を引き付けるとともに学習効果を高めるための指導論や教材の活用方法、教授論・教育技術についての理解を深める。保健の授業を分析・評価する視点について実践的に学び、授業改善のための方法を習得する。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科教育領域	保健体育科教育学	選択		35080630	保健体育科課程論	2	講義	・保健体育の目的や目標を達成するために、いつ、なにを、どのような順番で教えればいいのかというカリキュラムの構成について理解することができる。 ・学習指導要領に示されている保健体育のカリキュラムの変遷に着目しながら、カリキュラムの構成についての理解を深めることができる。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080650	保健体育科内容論Ⅰ（体育学）	2	講義	科学的方法とは、実験等の手段を意味するよりも、仮説を設定し、それについて検証していくための「論理的思考法」に特徴づけられるとも言える。本講義においては、仮説演繹法について学ぶとともに、この方法を自らの修士論文作成に具体的に適用してみることによって、「論理的思考法」を身につけることをねらいとする。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080670	体育学特論	2	講義	質問紙調査について内容を理解し、実際に質問紙作成から実施、分析を行い経験し、今後の研究活動に活かす。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080190	体育学演習Ⅰ	2	演習	カリキュラム・デザインの思考方法とその実際について学ぶ		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080210	体育学演習Ⅱ	2	演習	体育・スポーツ心理学を主題として、研究の進め方について理解する。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080690	保健体育科内容論Ⅱ（運動学）	2	講義	本講義では、効果的な運動指導方法における基礎的な理論及びその研究方法を学びます。 なお、本研究は自然科学的な運動研究である「スポーツバイオメカニクス」とは異なります。動きを哲学（現象学）的に考察していきます。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080250	運動学特論Ⅰ	2	講義	運動生理学を主題として研究法を習得する。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080270	運動学特論Ⅱ	2	講義	体力科学的研究について理解を深め、原著論文を抄読しながら研究成果についてディスカッションする。また、運動生理学的側面を中心に実験方法や測定機器の原理について理解し、体力科学に応用するための基礎を修得する。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080290	運動学特論Ⅲ	2	講義	競技者と指導者の関係、スポーツ指導者が必要とする知識、スポーツ指導者の在り方を学ぶ。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080350	運動学演習Ⅰ	2	演習	運動学の理論を机上の論理だけで認識するのではなく、実際に身体を使って実地訓練を行い、真に現場に役立つ運動学の理論について考えていきます。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080370	運動学演習Ⅱ	2	演習	修士論文作成に向けて、より実践的な研究方法を展開し、内外の文献を収集し整理し、分析方法を構築し、予備実験を繰り返し本実験へ向かう。研究成果を口頭発表する。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080390	運動学演習Ⅲ	2	演習	体力科学的理論内容を、実験&測定を通してさらに深く理解することを目標とします。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	体育学・運動学	選択		35080710	運動学演習Ⅳ	2	演習	トレーニングの実践およびコーチングにおける指導法の検討を通してコーチング実践力を養うことを目的とする。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080730	保健体育科内容論Ⅲ（学校保健学）	2	講義	最新の学校保健に関する課題と研究領域を理解する。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080750	学校保健学特論	2	講義	<p>【到達目標】</p> <p>1. 国内の健康教育推進学校の歴史の変遷について文献にレビューを通じて多角的視点に基づいた学際的な理論構築ができる。</p> <p>2. 学校保健の視点に基づき、健康教育推進学校の優れた実践について、文献や実際の取組を観察することを通して分析することができる。</p> <p>3. ヘルス・プロモーション・スクールなど国外の健康教育の動向や実践について文献レビューに基づき学際的に議論することができる。</p> <p>【テーマ】学校保健の視点に基づき、国内外の文献や健康教育の優れた実践を通じて学際的な理論構築を行う。</p>		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080490	学校保健学演習Ⅰ	2	演習	学校保健に関する研究課題を設定し、適切な研究方法を用い、課題追求能力を養うことを目的とする。		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080510	学校保健学演習Ⅱ	2	演習	<p>【到達目標】</p> <p>1. ヘルス・プロモーション・スクールの推進等、国内外の優れた実践報告や学校保健に関わる文献に基づき学校保健に必要なとされる新たな視点や政策について提案できる。</p> <p>2. インクルーシブの理念に基づいた今後の学校保健の展望について提案できる。</p> <p>3. 目標の1、2をふまえ、現代的な課題や新たな視点に基づき具体的に学校保健計画・学校安全計画を立案することができる。</p> <p>【テーマ】学校保健計画及び学校安全計画について、国内外の文献検討をふまえて、現代的な課題を分析し、具体的に立案できる力を修得する。</p>		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080770	養護教育学特論	2	講義	<p>養護教諭の歴史や制度・養護実践等からみる養護の捉え方や保健室の機能等の追究をもとに、養護教育のあり方について考察し、その方向性について論及できる。</p> <p>1. 養護教諭の実態と実践の現状について、歴史的背景や、制度、養護の概念や機能の視点から、考察、分析し、説明できる。</p> <p>2. 自己の養護実践から「養護教諭観」について、考察を深め、自分の考えを述べるができる。</p> <p>3. 1、2の目標をふまえて、養護教諭教育のあり方と現職養護教諭の研修課題についてについて考察し、考えを述べるができる。</p>		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080790	学校看護学特論	2	講義	<p>1. 学校看護学の理論について理解を深める</p> <p>2. 高度な看護実践力を身に付ける</p>		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080810	学校保健医科学特論	2	講義	<p>①学校保健に係る現状と課題を分析できる。</p> <p>②学校保健における養護教諭の問題解決能力と研究的視点を養う。</p>		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080830	養護教育学演習	2	演習	<p>【到達目標】</p> <p>1. ケースを基に、自分ならどのように対応するか、判断の根拠を明確に説明することができる。</p> <p>2. さまざまな情報に基づき多角的な視点から支援や対応を考え意見を述べるができる。</p> <p>3. 養護教諭の専門性をふまえた上での対応を考え説明することができる。</p> <p>4. さまざまな職種、機関との連携・協働・分担の視点をふまえ対応、支援について意見を述べるができる。</p> <p>【テーマ】ケースを基に、自分ならどのように対応するか判断力、対応力を醸成する。</p>		◎	
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080850	学校看護学演習	2	演習	学校を中心とした総合的な健康づくりについて考察できる		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
保健体育教育専修	専修教科科目	教科専門領域	養護・学校保健学	選択		35080870	学校保健医科学演習	2	演習	1. 学校保健医科学に関する系統的な文献レビューを行い、養護教諭に必要な学校保健医科学領域の情報収集・分析能力を高める 2. 学校保健医科学に関する研究課題と研究方法を理解し、まとめることができる 3. 学校保健医科学に関する研究遂行および論文作成の基礎を理解することができる		◎	
技術教育専修	共通実践科目			必修		35090830	技術科教育実践研究	2	講義	本授業は技術科教育学と技術の専門との協力によって技術科教育学を充実することを目標としている。情報教育専修に所属する院生は情報技術の専門性を深めることを目標としている。		◎	◎
技術教育専修	共通実践科目			必修		35090850	技術科教材開発論	2	講義	中学校「技術・家庭」、工業高校「専門科目」の授業を想定した教材開発の目的や開発された教材事例を分析し、技術教育を効果的に進めることができる教材とは何かを考える。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	技術科教育学	選択		35090010	技術科教育原論	2	講義	技術教育の歴史から、今日の技術教育の課題を明らかにし、中学校技術・家庭(技術分野)や工業高校における技術教育の在り方を検討する。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	技術科教育学	選択		35090030	技術科教育指導論	2	講義	技術科の授業設計や授業評価についての知見を深め、教員としての実践力を高めることができる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	技術科教育学	選択		35090870	技術科教育内容論	2	講義	技術教育全体を俯瞰し、様々な学習者に対して提供可能な教育内容を選定・最適化することができる能力を身につける。 「技術とは何か」との問いに対する適切な回答を過去や現在の社会情勢等を踏まえて説明することができる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	技術科教育学	選択		35090070	情報科教育原論	2	講義	高校の情報科教育に加え、小中学校の情報教育の教育内容、教材などの分析を通して、生徒たちに身につけるべき知識とスキルについて理解する。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科教育領域	技術科教育学	選択		35090090	情報科教育指導論	2	講義	小学校から中学校、高等学校といった段階的な情報教育を検討し、学校種に応じた適切な情報科教育を発達段階に応じて検討することができる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090890	電気工学特論Ⅰ	2	講義	電気に関するエネルギー変換に関する知識、技能を得ることを目標とする。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090910	電気工学特論Ⅱ	2	講義	電気に関するエネルギー変換に関する知識、技能を得ることを目標とする。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090930	基礎技術学内容論	2	講義	本講義では、各専門分野の基礎的な知識と技術を学ぶことにより、中学校の技術・家庭科の授業において取り上げられる教材に関して、より深い知見を得ることを目的とする。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090190	情報工学特論	2	講義	小学校や中学校技術科、高等学校情報科で利用可能なプログラミング教材の検討および開発を通して情報科教員として必要となる専門的な知識と技能が修得できる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090950	情報工学演習	2	演習	制御基板やプログラミング言語など情報工学に関する教材開発に必要な専門的な知識や技能を習得できる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090230	機械工学特論Ⅰ	2	講義	機械工学の諸問題において、実験あるいは理論解析が困難である場合、コンピュータを用いてシミュレーション解析により、その解を求める必要がある。この講義では、代表的な教材を通じて解析とシミュレーションについて取り扱う。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	基礎技術学	選択		35090250	機械工学特論Ⅱ	2	講義	中学校技術エネルギー分野（機械）の教材に対する深い理解		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生産技術学	選択		35090970	金属加工学特論	2	講義	金属材料の特徴を生かした教材作りや技術教育について様々な授業実践例を分析		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生産技術学	選択		35090990	生産技術学内容論	2	講義	複数の分野の生産技術について、実習や具体的な事例の検討を通じて理解を深める。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生産技術学	選択		35091010	木材加工学特論Ⅰ	2	講義	木材加工における、専門的知識を深めるとともに、世界の材料と加工の教育について調べることにより、技術教育の視野を広げる。すべての講義は英語原書で行う。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生産技術学	選択		35091030	木材加工学特論Ⅱ	2	講義	木材加工の専門知識として、木質構造における全般的な理解と専門的な知識の取得を目標とする。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生産技術学	選択		35091050	園芸学特論	2	講義	園芸学の専門分野に対する理解を深め、栽培の指導に必要な知識経験を増し、教材開発や研究を企画・実施できる力量を涵養する。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生産技術学	選択		35090490	栽培学特論	2	講義	この授業は、作物と環境との関わりや、地球環境変化の下での作物生産、農業における先端の研究、また、学校における教材化例について紹介する。新学習指導要領における中学校技術分野における生物育成の技術の扱い方についても紹介する。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091090	情報教育特論Ⅱ	2	講義	「情報と社会」の教科書で扱う内容を、一段掘り下げて理解する。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35090570	ソフトウェア科学特論	2	講義	情報教育では、エクセルやワードを使いこなすための教育がメインとなりがちだが、これでは次世代の情報技術を理解し教育できる人材育成には繋がらない。そこで、本講義では基本に忠実に、情報技術の基盤をなす離散数学について学習し、各種情報技術の理解を深め、教育力をアップすることを目標とする。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091070	情報教育特論Ⅰ	2	講義	ICTを活用した学習者中心の授業を設計実践できるようになることを目標とする。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091110	情報教育内容論	2	講義	教育現場で使われるオペレーティングシステム(OS)が、ある1社の製品であるWindowsに縛られている状態は、あまり望ましいとは思えない。また、Windowsは利便性を向上させた結果ブラックボックス化が進み、OS本来の姿が見えにくい。そこで、本講義ではLinuxをテーマに、オペレーティングシステムに関する理解を深める。これは、情報教育全般に関する教育力向上につながる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091130	情報教育演習Ⅰ	2	演習	情報教育において、単元を中心とした教育プログラムを開発・実施・評価することを通して、教育プログラムを改善していく方法を身につける。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091150	情報教育演習Ⅱ	2	演習	授業作りの活動を通して、授業計画の力量を高める。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091165	総合科学情報特論	2	講義	学部の授業「情報科学」では一般論を述べるに留まったコンピュータアーキテクチャについて、具体的な構成法などを含めた知識を習得する		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091210	総合科学情報演習	2	演習	専門分野の研究で活用する各種機器に関する知識および操作・開発技能の修得を通して、学校教育に資する計測・制御や測定に関する教材・教具の開発ができる。		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091170	総合科学情報特論Ⅰ	2	講義	学部の授業「情報科学」では一般論を述べるに留まったコンピュータアーキテクチャについて、具体的な構成法などを含めた知識を習得する		◎	
技術教育専修	専修教科科目	教科専門領域	情報教育	選択		35091190	総合科学情報特論Ⅱ	2	講義	学部の授業「情報科学」では一般論を述べるに留まったコンピュータアーキテクチャについて、具体的な構成法などを含めた知識を習得する		◎	
家政教育専修	共通実践科目			必修		35100390	家庭科教育実践研究	2	講義	家庭科における主たる題材の授業実践について、記録のとり方とその分析方法を研究し、自らの計画・実践する授業においても活用できるようになる。		◎	◎
家政教育専修	共通実践科目			必修		35100410	家庭科教材開発論	2	講義	より質の高い家庭科の教材や授業実践研究に学び、教材開発に必要な基礎的な力を育てる。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科教育領域	家庭科教育学	選択		35100010	家庭科教育原論	2	講義	家庭科の教育課程研究について、歴史的視野の中で現在の到達点を理解すると共に、新たな課題を考える。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科教育領域	家庭科教育学	選択		35100030	家庭科教育指導論	2	講義	授業実践事例の分析を通して、家庭科の授業設計における課題を考察し、解決策を提案することができる。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科教育領域	家庭科教育学	選択		35100430	家庭科内容論Ⅰ	2	講義	これまでに実際に取り組まれたり、提案されてきた小・中・高等学校の家庭科教育に関する内容構成の組み立て方について、それらの時代的な生活背景をふまえて、学習者の発達課題や生活課題の視点から検討する。家庭科の内容構成を考える際の視点について理解を深める。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活科学	選択		35100065	食物学特論	2	講義	食は生きる源であるが「医食同源」と言われるように、選択によっては健康維持に役立ち、また選択を間違えれば、毒にもなりうる。多くの情報と選択肢がもたらされる現代で、何をどれだけ選択していけばよいのだろうか？まずは日本の食生活の歴史を振り返り、現代社会に求められる食育について討論し、新たな教材開発を目指す。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活科学	選択		35100105	食物学演習	2	演習	食品の安全性および食品衛生に焦点をあてた「食物学特論Ⅰ」の内容をさらに深化するために、文献購読によって食品の安全性に関する学術情報を習得する。さらに、得られた情報を家庭科教育における食領域の実験教材へと展開できるような能力の育成を行う。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活科学	選択		35100450	家庭科内容論Ⅱ	2	講義	小・中・高等学校の家庭科で扱われる生活科学分野（食生活・衣生活）の内容について、題材構成、教材選択の適切性、教材・教具の活用や開発、学習形態等について検討し、家庭科の特色や目標に基づいた実践的な授業づくりができる能力を養成する。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活学	選択		35100230	生活経営学特論	2	講義	本授業では、「御船美智子論文集」の読解を行いつつ、討論を通じて、生活経営学に関する深い理解に到達することを目標とします。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活学	選択		35100270	生活経営学演習	2	演習	本授業では前期の生活経営学特論で学んだ内容を活かして、授業実践につながるための専門知識を把握してもらうことを目標とする。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活学	選択		35100250	家族関係学特論	2	講義	現代日本において、日本の家族が直面している問題を社会の変化に関連づけながら学習し、家族関係の実態と展望について考察する。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活学	選択		35100490	児童学特論	2	講義	乳児期から幼児期にある子どもの発達の特徴と保育課題について概観し、子どもの発達と保育について理解し、子どもの「健全」な発達を促す環境とは何かについて考察する。		◎	
家政教育専修	専修教科科目	教科専門領域	生活学	選択		35100530	家庭科内容論III	2	講義	小・中・高等学校の教科教育としての家庭科教育の内容のうち、保育、家族関係、家庭経済などの構成の仕方を考えてみる。また学習指導要領や教科書教材を手にしたとき、なにを教えるべきか、基礎基本とはどのように考えるのかを対象に検討する。		◎	
英語教育専修	共通実践科目			必修		35110430	英語科教育実践研究	2	講義	The goal of this course is to engage students in reading, discussion and hands-on activities related to a range of issues in English language teaching. Students will also complete a project involving the systematic observation of English classes, followed by the writing of a formal report based on an analysis of the observation.		◎	◎
英語教育専修	共通実践科目			必修		35110450	英語科教材開発論	2	講義	中学や高校の教員に必要な教材作成能力を身につける。具体的には、授業のねらいや学習者のニーズに応じて適切な教材を選択し必要に応じた改編を加えたり、特定の目的のために新たに教材を作成したりするための技術の獲得を目指す。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	英語科教育学	選択		35110470	英語科教育原論Ⅰ	2	講義	1) 外国語の教授・学習に関する英語文献の購読を通じて、修士論文研究・執筆の基礎となる理論的知識を深める。 2) 学習者の実態に応じた授業づくりができるような指導技術の奥行きを身につける。3) 英語教師として必要な英語運用能力をさらに高める。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	英語科教育学	選択		35110490	英語科教育原論Ⅱ	2	講義	主として中等教育以上の英語教育で求められる知識・指導技術を身につける。自分の英語運用能力を客観的に証明する英語資格試験にも挑戦し、指導できるようになる。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	英語科教育学	選択		35110510	英語科教育課程論	2	講義	1) 単元レベル、カリキュラム・レベルでの教育内容・教材構成を理論的・実践的に学び、単元構想力を深化させる。 2) アセスメントの理論・手法を学び、カリキュラムレベルまで含めた、授業評価・省察力を身につける。 3) 英語教師として必要な英語運用能力・指導技術をさらに高める。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	英語科教育学	選択		35110530	英語科教育指導論	2	講義	外国語を教えるとはどういうことか、外国語を学習するとはどういうプロセスなのかを、英文で書かれた文献を読みながら考察していく。加えて、英語科教育学における研究・実験手法について学習していく。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科教育領域	英語科教育学	選択		35110550	英語学術論文構成法	2	講義	This course has two goals: 1) to introduce students to the basic organizational structures that are used the most widely in English academic writing; 2) to prepare students to write a thesis in English.		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英語学	選択		35110570	英語科内容論Ⅰ（英語学）	2	講義	まず英語学・言語学全般にわたる、最近の動向を紹介する。次にその中の理論や方法論を、中学校・高等学校で使用されている教科書の内容へ応用することを研究する。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英語学	選択		35110130	英語学特論Ⅰ	2	講義	英語学の論文を輪読しながら、内容に対しての議論を行う。		◎	

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コード	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英語学	選択		35110150	英語学特論Ⅱ	2	講義	英英語教師に必要な現代言語学に関する基礎的な知識を身につけるとともに、言語学の基本的な方法論や思考法を理解し、これに基づいて現代英語の意味に関わる現象のいくつかを観察・記述することにある。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英語学	選択		35110170	英語学特論Ⅲ	2	講義	英語教師に必要な現代言語学に関する基礎的な知識を身につけるとともに、言語学の基本的な方法論や思考法を理解し、これに基づいて現代英語の意味に関わる現象のいくつかを観察・記述する。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英語学	選択		35110590	英語学特論Ⅳ	2	講義	英語学論文を読みながら、内容に対する討議をおこなう。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英米文学	選択		35110610	英語科内容論Ⅱ（英米文学）	2	講義	文学的素材とはどのようなものなのか、また、英語を学ぶ／教える際に、文学的要素がどのような効果を生み出すのかを、実際に作品を読みながら省察し、将来英語を教える際のヒントとする。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英米文学	選択		35110250	英米文学特論Ⅰ	2	講義	英語の韻文の特徴を理解し、韻文を認識できるようにするとともに、適切にリズムを表現できるようにします。これらにより、マザーグースなどの韻文を使った英語指導法に関する基礎知識が得られるでしょう。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英米文学	選択		35110270	英米文学特論Ⅱ	2	講義	演劇研究、あるいは教育現場での授業方法にも関連する口承文化のあり方について理解を深めること。オラリティーとリテラシーの関連について学び、両者の実践的結びつきを概観する。		◎	
英語教育専修	専修教科科目	教科専門領域	英米文学	選択		35110290	英米文学特論Ⅲ	2	講義	散文フィクションの言語的・文体的特徴を概観し、このジャンルの作品を解釈・分析するための基礎的な力を付ける。		◎	
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	課題研究			必修		35200010	課題研究Ⅰ	2	講義		◎	◎	◎
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	課題研究			必修		35200030	課題研究Ⅱ	2	講義		◎	◎	◎
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	課題研究			必修		35200050	課題研究Ⅲ	2	講義		◎	◎	◎
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	留学生関連科目			選択		35200110	日本文化特論Ⅰ	1	講義	来日直後の短期留学生が、静岡の地域社会と暮らしを題材に日本文化を理解します。 指導教員や教育学研究科の大学院生と交流し、留学中の学習や生活を充実させる基盤をつくります。		◎	
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	留学生関連科目			選択		35200130	日本文化特論Ⅱ	1	講義	来日していから半年を経過し、すでに「日本文化論Ⅰ」を履修した短期留学生が、家族・婚姻・子育てなどを題材に日本文化を理解します。 指導教員や大学院生と交流し、留学中の学習や生活をさらに充実させる基盤をつくります。		◎	
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	留学生関連科目			選択		35200210	異文化交流実践論Ⅰ	1	講義	地域社会と暮らしをテーマに日本文化を紹介します。 留学生の学習と生活の支援を通して、異文化理解を体験し、そのスキルを高めます。		◎	◎
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	留学生関連科目			選択		35200230	異文化交流実践論Ⅱ	1	講義	来日していから半年を経過し、すでに「日本文化特論Ⅰ」を履修した短期留学生に、家族・婚姻・子育てなどを題材に日本文化を紹介します。 留学生の学習と生活の支援を通して、異文化理解を体験し、そのスキルを高めます。		◎	◎

大区分	中区分	小区分	詳細	必修 選択	科目NO	科目コー ド	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	DP1	DP2	DP3
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	海外研修科目			選択		35200310	海外語学研修特論Ⅰ	2	講義	海外における語学研修のうち留学先の取得単位を本学の単位として互換認定できない留学で、一定の要件を満たす教育プログラム等を修め、教育学研究科の専門科目としてふさわしい「研修課題」を達成した場合に単位認定を行うための科目である。		◎	
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	海外研修科目			選択		35200330	海外語学研修特論Ⅱ	2	講義	海外における語学研修のうち留学先の取得単位を本学の単位として互換認定できない留学で、一定の要件を満たす教育プログラム等を修め、教育学研究科の専門科目としてふさわしい「研修課題」を達成した場合に単位認定を行うための科目である。 すでに「海外語学研修Ⅰ」を履修した学生が、次の語学研修を行う際に履修する。		◎	
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	海外研修科目			選択		35200410	海外文化交流研修特論Ⅰ	2	講義	海外における語学留学以外の留学や研修のうち、留学先などの認定単位を本学の単位として互換認定できない活動で、一定の要件を満たす教育プログラム等を修め、教育学研究科の専門科目としてふさわしい「研修課題」を達成した場合に単位認定を行うための科目である。		◎	
2019年度 教育学 研究科 [ED-M]	海外研修科目			選択		35200430	海外文化交流研修特論Ⅱ	2	講義	海外における語学留学以外の留学や研修のうち、留学先などの認定単位を本学の単位として互換認定できない活動で、一定の要件を満たす教育プログラム等を修め、教育学研究科の専門科目としてふさわしい「研修課題」を達成した場合に単位認定を行うための科目である。すでに「海外文化交流研修特論Ⅰ」を履修した院生が、次の研修を行う際に履修する。		◎	